

「ひろしま未来教師セミナー」の第6回の受講者のアンケート結果及び感想等をお知らせします。

(2月15日 91名回答) ※ 4:とても 3:まあまあ 2:あまり 1:まったく

<満足度>	4 : 83人	3 : 6人	2 : 2人	1 : 0人
<理解度>	4 : 78人	3 : 11人	2 : 2人	1 : 0人
<今後の見通し>	4 : 72人	3 : 17人	2 : 2人	1 : 0人



【アンケート結果】

【生徒指導の基礎】

- ・ 真に児童が望んでいることを見取り、支援していくことが必要であると分かった。(大学3年)
- ・ ただ、漠然と褒めたり叱ったりするのではなく、児童生徒の特性を踏まえた上で、考えて褒めたり叱ったりする必要があると強く感じた。(大学3年)
- ・ 結果に関わらず、頑張ってきた過程を褒めることが大切であるというキーワードが印象に残っている。教師の言葉一つで児童生徒同士がお互いに切磋琢磨し合える関係が作りだせると思った。(大学3年)
- ・ 「生徒指導の3機能」について初めて学ぶことができた。この機能を生かし、授業を行うことの重要性について分かった。(大学2年)

【いじめ問題への適切な対応】

- ・ 「実態把握」が心に残った。日頃から児童生徒の実態把握ができていないと、それがいじめかもしれないという考えがもてないので、教師は授業以外の時間にも、十分児童生徒に目を向けておく必要があると感じた。(大学3年)
- ・ 被害児童生徒が「大丈夫」と答えたとしても、本当にそうなのかという視点を持ち、保護者や職員間で連携を図ることが重要であると思った。また、教員が一方的な思いで判断することなく、一人で抱え込むことなく、些細なことでも、他の教職員に相談・報告し、組織で対応することが必要だと感じた。(大学3年)
- ・ いじめの未然防止の取組は多様であり、日々の授業や教育相談などもこの取組と密接にかかわっていることを知り、この取組を継続的に積み重ねていくことが大切だと思った。(大学3年)
- ・ 事象だけで判断するのではなく、その背景も含めて情報を得て幅広い視点から話し合うことが重要だと思った。また、情報の質も大事になってくると思った。(大学2年)

セミナーを受けた後、日常生活や、大学の授業等に結び付けたり、様々な情報を収集しようとしたりする姿勢が、すばらしいです。広島市教育センターのHPの閲覧数もどんどん増えています。セミナーも、いよいよ次回で最後です。

<セミナーを受けて、今…>

- ・ 前回のセミナーにあった「伝えるHIROSHIMAプロジェクト」について調べ、そこから自分自身の知識が浅いと感じたので、新聞に載っている関連記事を読み、知識を増やすように努力した。(大学3年)
- ・ 大学の授業で学ぶこととセミナーで学んだことをリンクさせながら学ぶように心がけた。(大学2年)
- ・ 友達と自分が目指す教師像を話し合い、今の自分に何が必要であるかを一緒に考えた。(大学3年)

【受講者の感想】